



辺野古新基地
NO!

2017年4月19日 日比谷野外音楽堂

今こそ立ち上がろう

作詞：山城 博治

沖縄の未来は 沖縄が開く
戦さ世を拒み 平和に生きるため
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

辺野古の海を 守り抜くために
圧政迫るが 立ち止まりはしない
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

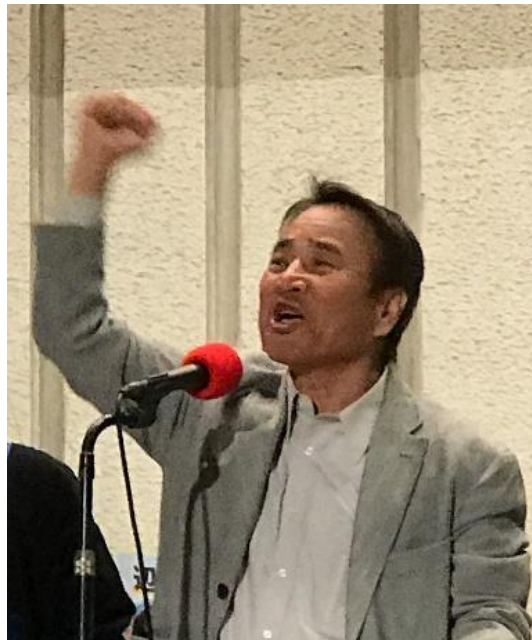
高江の森を 守り抜くために
力を合わせて スクラム固めよう
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

島々の暮らしを 守り抜くために
思いを巡らせてスクラム固めよう
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

輝く明日は 今こそが拓く
閉ざされた歴史を 解き放つために
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

歌え自由の歌を 届け空の彼方へ
この青空の下に 人は生きて行く
今こそ立ち上がろう 今こそ奮い立とう

「美しい5月のパリ」のメロディーで



この笑顔、この声、このこぶし——。

何と力強いことか。

3月18日、保釈で5ヶ月ぶりに再び闘いの場に戻った沖縄平和運動センター議長・山城博治さんがステージに立ち、「今こそ立ち上がろう」「沖縄を返せ」と熱唱した。

この闘志、この気迫！
腹の底から力が出る！



民進党、共産党、自由党、社民党、沖縄の風各党代表が力強く決意表明。続いて、警視庁機動隊沖縄派遣違法住民訴訟代表と辺野古埋立て土砂採掘に反対する各地の市民団体が現状報告と決意。

辺野古基地建設は本土の警察・大企業も加害者だ。埋立て用土砂採掘跡地は、産廃物・原発廃棄物処理場にされる危険性があるという。辺野古基地建設強行は、日本全土の環境を破壊する暴挙だ。

阻止の展望は、「あきらめない」「負けてたまるか」の決意から生まれる。声を上げよう！ 行動に参加しよう！ (福島 清)